

江東内部河川

江戸の堀割 下町の川

荒川と隅田川に挟まれた江東三角地帯を流れる河川の総称を「江東内部河川」といい、全部で11の河川があります。その多くは江戸時代に開削された運河で、直線的な流れとなっています。江東三角地帯においても地盤が特に低い東側地域を流れる河川については、河川の水位を人工的に下げています。

きたじゅっけんがわ

北十間川

万治年間(1658~1661)に開削された堀割で、本所の北を流れる、幅十間(約18m)の川であったがその名の由来。すみだリバーウォークや東京ミズマチなど、水辺のにぎわいが脚光を浴びている河川です。

よこじゅっけんがわ

横十間川

同じく万治年間に開削された堀割で、江戸城に対して横に流れる幅十間の川であったことでその名がつけられました。全長約4kmのうち、大横川から小名木川間の約2kmは江東区の親水公園として整備されています。

北十間川・横十間川コース

- スタート 東武伊勢崎線、東京メトロ銀座線、都営地下鉄浅草線「浅草駅」
- ゴール 東京メトロ東西線「木場駅」

距離：約7.5km 歩数：約10,710歩
所要時間：約1時間53分
消費カロリー：約339kcal

おなぎがわ

小名木川

隅田川から旧中川まで、東西に江東区を横断している全長約5kmの河川です。天正18年(1590)、徳川家康の江戸入城に伴い、米・塩等の物資の輸送路として水路を開いたのが始まりといわれています。

きゅうなかがわ

旧中川

大正13年(1924)に荒川放水路(荒川)が開削され中川が分断されたため、荒川放水路の西側は旧中川と呼ばれることとなりました。親水性の高い緩傾斜型堤防で整備しており、安全でうおいのある水辺空間が創出されています。

小名木川・旧中川コース

- スタート 都営地下鉄新宿線、東京メトロ半蔵門線「住吉駅」
- ゴール 「東墨田三丁目」バス停「平井駅」行き

距離：約8.0km 歩数：約11,430歩
所要時間：約2時間
消費カロリー：約360kcal



1 東京ミズマチ

北十間川のリバーサイドと東武鉄道の高架下を活用して誕生した、浅草と東京スカイツリータウンを結ぶ新たなエリア。



10 十間橋からのスカイツリー

スカイツリーの眺望・撮影ポイントとして人気。水面が穏やかであれば逆さスカイツリーが見られる。



4 亀戸天神

菅原道真を祀った神社で、江戸時代からの藤の名所として知られている。天神様を信仰した四代将軍家綱が土地を寄進し、寛文二年(1662)年創建にされた。



10 十間橋からのスカイツリー

スカイツリーの眺望・撮影ポイントとして人気。水面が穏やかであれば逆さスカイツリーが見られる。



3 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)



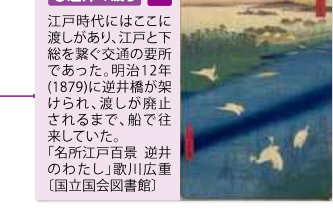
16 木下川排水機場

地盤が特に低い江東三角地帯の東側において、河川の水位を人工的に低下させるための施設。旧中川の南端にある小名木川排水機場とともに、東側河川の安全を担っている。



12 ふれあい橋

江東区と江戸川区を結ぶ人道橋。川面が穏やかな時は逆さスカイツリーが眺められる。付近は河津桜や紫陽花などの名所にもなっている。



13 逆井の渡し

江戸時代にはここに渡しがあり、江戸と下総を繋ぐ交通の要所であった。明治12年(1879)に逆井橋が架けられ、渡しは廃止されるまで、船で往来していた。「名所江戸百景 逆井の渡し」歌川広重(国立国会図書館)



17 東大島駅

旧中川の真上にある都営地下鉄新宿線の駅。江東区と江戸川区にまたがり、ホームに行政区分標がある珍しい「関東の駅100選」に選ばれている。



11 旧小松川閘門

荒川と旧中川の水位差を解消するために設置されていた施設で昭和5年(1930)に造られた一部が当時の場所に保存されている。昭和50年代に廃止され、現在は荒川ロックゲートがその役割を担っている。



14 中川口

かつて小名木川と中川、新川が合流する場所だったことから、幕末まで中川番所が置かれていた。中川船番所資料館ではジオラマで往時の姿を再現している。「名所江戸百景 中川口」歌川広重(国立国会図書館)

11 小名木川五本松跡

かつては川に大きく張り出した松の名木があった。当時の松は全て枯れて失われたが、現在でも小名木川橋のもとには松が植えられている。「名所江戸百景 小名木川五本まつ」歌川広重(国立国会図書館)

15 堀の道

千葉県の手代から江戸に塩を運ぶ「堀の道」として重要な役割を果たしていた。小松橋から旧中川合流点付近まで、石積風護岸や常夜灯にヤナギなど、江戸情緒を感じられる水辺の散策路が整備されている。

18 東大島駅

昭和47年に廃止された旧都電小松川線の専用橋が「秋に添って行ばよ未は小松川」であった。現在は亀小橋。

19 横十間川親水公園

クローバー橋から大横川合流点付近までの約1.9kmは横十間川親水公園となっており、貸しポートや水上アスレチック、野鳥の森など、子供から大人まで楽しめるスポットとなっている。

14 中川口

かつて小名木川と中川、新川が合流する場所だったことから、幕末まで中川番所が置かれていた。中川船番所資料館ではジオラマで往時の姿を再現している。「名所江戸百景 中川口」歌川広重(国立国会図書館)

15 堀の道

千葉県の手代から江戸に塩を運ぶ「堀の道」として重要な役割を果たしていた。小松橋から旧中川合流点付近まで、石積風護岸や常夜灯にヤナギなど、江戸情緒を感じられる水辺の散策路が整備されている。

16 木下川排水機場

地盤が特に低い江東三角地帯の東側において、河川の水位を人工的に低下させるための施設。旧中川の南端にある小名木川排水機場とともに、東側河川の安全を担っている。

17 東大島駅

旧中川の真上にある都営地下鉄新宿線の駅。江東区と江戸川区にまたがり、ホームに行政区分標がある珍しい「関東の駅100選」に選ばれている。

18 東大島駅

昭和47年に廃止された旧都電小松川線の専用橋が「秋に添って行ばよ未は小松川」であった。現在は亀小橋。

19 横十間川親水公園

クローバー橋から大横川合流点付近までの約1.9kmは横十間川親水公園となっており、貸しポートや水上アスレチック、野鳥の森など、子供から大人まで楽しめるスポットとなっている。

20 小名木川

隅田川から旧中川まで、東西に江東区を横断している全長約5kmの河川です。天正18年(1590)、徳川家康の江戸入城に伴い、米・塩等の物資の輸送路として水路を開いたのが始まりといわれています。

21 旧中川

大正13年(1924)に荒川放水路(荒川)が開削され中川が分断されたため、荒川放水路の西側は旧中川と呼ばれることとなりました。親水性の高い緩傾斜型堤防で整備しており、安全でうおいのある水辺空間が創出されています。

22 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

23 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

24 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

25 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

26 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

27 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

28 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

29 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

30 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

31 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

32 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

33 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

34 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)

35 柳島橋

かつて、柳島橋のもとには妙見堂や高級料亭などがあり、大変賑わったといわれている。「名所江戸百景 柳島」歌川広重(国立国会図書館)